

回
覧

11月

がらっぱの里

《 発行 》

平佐東地区コミュニティ協議会
0996-29-2056

令和5年11月24日

11月12日平佐東小学校(学習発表会)・平佐東地区合同文化祭

4年ぶりとなる文化祭が開催されました。平佐東小学校の学習発表会と合同で舞台上に展示物に講演会と賑やか、かつ、面白く有意義な時をすごしました。

展示物出品者

あさひ保育園
平佐東小学校
平佐東児童クラブ
女性学級
瀬越自治会元気サロン
木ノ下さつきさん・小牧正枝さん
茶園三洋さん
飯母郷土芸能保存会
あさひ資源保全組合

くだものがり絵や置物等
絵画等
絵画や工作品
藍染作品
トトロの置物等
生け花
平佐東小沿革誌
鷹踊り・俵踊りの衣装・小道具
活動パネル

歴史資料館長の霧島先生による歴史講話



展示作品のコーナーの一角



平佐東小学校学習発表会(合奏)

みんなのはんとけん体操(福祉部会)

令和5年11月25日(土)
平佐東コミセン2F
10:00~11:00

どなたでも参加できます。
先生の軽妙な語り口で楽しく体操ができます。
詳しくは民生・児童委員、アドバイザーにお問い合わせください。



飯母郷土芸能保存会の皆さん



第8回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

天福寺遺跡—「阿弥陀如来像」

薩摩川内市文化財に指定されている「阿弥陀如来像」(6cm)、その台座(3.6cm)に江戸時代の「天明四」(1784年)の刻銘と「仏師 大磯作彌徳能」「石切 平右衛門 久木田與七」も記される。小型の石造ゆえにその優美さと技巧の精巧さに魅入られる。仏師 大磯作彌は宮之城の出であり、樋脇町(「樋脇自動車」近く)にもこの石造(『三島の仁王像』2体)がある。こちらの石造は、大型(等身大程度)で力感あふれる作品に仕上がっており、「阿弥陀如来像」と同じ作者とはとても思えない。案内板には「當士徳能(大磯作彌)」との紹介があり、こちらが本名かなと思える。残念なことに明治初年の「廢仏毀釈(はいぶつきしゃく)」(仏教をまちがった悪い教えとして寺院を壊し、仏像を破壊し、僧侶を迫害した出来事)で、2体とも上・下半身部が真二つに割られており、後に接合されたようである。

もうひとつの見どころは、当地に手水鉢としての六角柱(石塔)がある。正確には江戸期の「六地藏(幢身=どうしん)の一部だった」に刻まれている。「刻銘」文がある。天福寺の由来らしきものが記されている。詳細は不だが、判明していることは口蔵山天福寺は舊(古く)は「梶馬場又福泉之地」にあり、「平佐城梁月禅寺三世□□□和尚中興の道場」だった…?(私には読みこなせない)天福寺も「廢仏希釈」で跡形もなく破壊された。

平佐東小学校『沿革誌』のほんの始めの方に「天福寺ノ堂宇(どうう)ヲ壊(こわ)チテ地ヲ吉野山ニトシー校舎ヲ建テ」とある。多分、天福寺が「寺子屋」だったのではないかと想起させられる。



※ 合同文化祭で茶園三洋さんが平佐東小学校の沿革誌を展示されていたのをご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、改めて、平佐東小学校の前身は明治5年の日本の学制発布の前から学校として存在していて、小さいながらも私塾として、平佐東地区の子ども達が学んでいたことに驚きを覚えます。

平佐東小PTAからのお願い

平佐東小学校では例年設置しているクリスマスイルミネーションや門松の作成を計画していますが、門松に使う松・千両・万両・南天等を寄贈していただければ、大変有難いです。ご協力いただける方があれば、学校又はコミセンまでご連絡して下さい。



10/30 令和コミュニティートー

令和5年10月30日(月曜日)国際交流センターにおいてコミュニティートークが開催されました。当地区からも会長以下数名の方の参加をいただき、活発な意見交換をしていただきました。

1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

予約や利用の仕方など、詳しく聞きたい方は、コミセンまで連絡ください。



平佐東地区
コミュニティセンター
TEL 29-2056

- 11月 25日(土) はんとけん体操
あさひ資源保全組合
- 26日(日) グランドゴルフ大会
- 27日(月) あさひ資源保全組合
- 12月 2日(土) コミセン大清掃
- 13日(水) 民児協

☆ 12月慰霊碑掃除当番 長野自治会